地域づくり提案事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 22 年度

市町村名	鳩ヶ谷市			
提案事業名	活力の源をつくるまちづくり事業			
事業期間	22 年度	~	22 年度	
事業の必要性、目的	すべての市民が健康で生き生きと暮らせる社会の実現という市民と市の共通の思いを達成すべく、「健康」をテーマに事業を実施し、活力の源をつくるまちづくり事業を実施する。現在、ウォーキングに関する市民の関心は高く、市においても昨年公園内にウォーキングコースを新設するなど、公園内及び市内歩道などあらゆる場所において、ウォーキングを中心とした健康づくりがなされている。そこで市道8号線及び12号線の歩道を整備し、ウォーキングによる健康づくりを推奨し、あわせて「2010ウォーキング大会」を市内歩道及び自転車道等を使用して新たに開催する。さらに市民と市の協働による健康づくりを推進するため「健康まつり」を新たに実施し、市民が生き生きと暮らせる活力の源をつくるまちづくりを目指す。			
成果指標	(成果を検証する指標) 2010ウォーキング大会参加者数			
	(成果検証の具体的な方法) 2010ウォーキング大会参加者数を調査する			
	(上記の指標を設定した理由) 新規事業である「2010ウォーキング大会」の参加者を測定することにより、事業の効果、健康への関心度等が図れるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (22年5月現在)	-	目標値 (22年11月時 点)	300人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法 及び特記事項	鳩ヶ谷市広報誌 鳩ヶ谷市公式ホムページ			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成22年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
歩道の段差解消事業~人にやさしい道づくり~	ハード 1級幹線道路の歩道を整備することにより、ウォーキングによる健康づくりを推奨する。また、交通弱者が外出しやすい市内環境の向上に努める。安全な歩行が確保されることにより、自分の足で歩き、目で見て市内環境の現状を実感することができる。	22,000
健康まつり事業	ソフト 健康づくりに関する現状や情報提供等、多様なプログラムを用意し、多くの方の健康意識を高め、市民が生き生きと暮らせるよう支援する。	366
健康づくり推進員充実事業	ソフト 健康づくり事業について、市に対して必要な提案を行い、市民と市との協働による健康づくりを推進する鳩ヶ谷市健康づくり推進員を充実させ、健康まつり事業等を企画・運営し、市民が生き生きと暮らせるよう支援する。	147
2010ウォーキング大会委託事業	ソフト 市民の健康づくり、スポーツ振興施策として、市民や関係団体とが協働し、「地域に根差した市民による市民のための健康づくり」を目的に、市内の財産を再認識していただくとともに、施設を有効活用し、日常生活に健康づくり、スポーツが浸透するよう市民自らの活動の場、機会の提供、きっかけづくりとして実施し、定着を目指す。	997
合計		23,510

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	ハード整備とソフト事業を組み合わせ、ウォーキングを中心とした健康づくりを推進することにより健康づくりの関心を高める。
成果指標の達成見込み	鳩ヶ谷ウォーキング大会実行委員会推進員が主体となり事業を企画・運営することにより、市民のニーズを的確に捉えた事業が期待でき、達成が見込まれる。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

- ・提案事業の事業期間は2カ年までとすること
- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「実行委」 商工会、観光協会、地域づくり団体等が市町村とともに設置した実行委員会で、事務局が市町村に置かれているもの(実行委員会による事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所、自治会、ボランティア団体等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、実行委員会による事業の場合又は間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。